

経営協議会議事録  
(令和元年度第1回)

令和元年5月20日(月)  
13時00分から14時50分まで  
法人本部3階 第一会議室

出席者

議長	小山清人						
委員	相澤益男	青塚 晃	井上弓子	里村正治	ストロナク・ブルース		
	吉村美栄子						
	安田弘法	久保田功	大場好弘	阿部宏慈	小島浩孝	根本建二	
副学長	出口 毅						
監事	渡辺 均	竹内千春					

欠席者

委員 里見 進 中野光雄

議長から、本学経営協議会規程第6条第2項の会議開催要件を満たしている旨の報告があった。

- 1 経営協議会議事録(3月20日開催)の確認  
議長から、前回3月20日開催の本会の議事録(案)について確認があり、議事録が了承された。
- 2 【協議】令和2年度概算要求(施設整備関係)について  
小島理事から、2020年度施設整備概算要求方針等を踏まえた施設整備の要求事項について審議願うものである旨の説明があった。  
次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 3 【協議】国立大学法人山形大学及び山形大学業務執行規程の一部改正について  
阿部理事から、法人部局長及び大学部局長の職務代理を全学規則において明確にすることを目的に、所要の改正を行うことについて審議願うものである旨の説明があった。  
次いで、議長から、本件について諮られた結果、原案どおり了承された。
- 4 【報告】Annual Plan 2019について  
小小学長から、議題に関して、本学のステークホルダーに2019年度の経営方針、行動計画及びAnnual Planの作成後6年間の成果を周知し、理解を得ることを目的に作成した旨の報告があった。  
  
本件に関して、主な意見等は以下のとおり  
・大学の活動方針・行動計画を数値によって目標を表すことは非常に重要なことであり継続してほしい。  
・数値データを提示するときには、当該データの妥当性を客観的に確認し、検証するシステムが重要であり、データに関する責任の所在を明確にしておく必要がある。
- 5 【報告】平成30事業年度収支見込について  
小島理事から、議題に関して、報告があった。  
  
本件に関して、主な意見等は以下のとおり。  
・部局毎の予算構造が異なることから絶対金額に大きな差が生じており、組織間の比較が困難なため、予算の内訳を詳細化して分析・評価する必要がある。

- 6 【報告】平成30事業年度における長期借入金の償還状況について  
小島理事から、議題に関して、報告があった。

- 7 【報告】「国立大学法人山形大学情報セキュリティ・ポリシー」の改訂について  
大場理事から、議題に関して、部局からの意見を踏まえ、本学の情報セキュリティ基本方針を整備した旨の報告があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・外部委託においては、委託会社の調査方法をマニュアルベースで整備し、定期的に委託先を点検することが必要である。
- ・SNS等が普及している中、プライベートな情報のコントロールの在り方等について留意していく必要がある。

- 8 【報告】東日本大震災等により被災した山形大学入学志願者の検定料免除に関する取扱要領の一部改正について  
大場理事から、議題に関して、様々な自然災害により被災した入学志願者への配慮を柔軟に対応することが出来るよう、所要の改正を行った旨の報告があった。

- 9 【報告】平成31年度入学試験実施状況について

大場理事から、議題に関して、学部及び大学院の状況について報告するとともに、大学院の充足率及び東北三県（山形、宮城、福島）の高校からの入学者数についても報告があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・高校生だけでなく、教員も含めて、山形大学に対する評価が低いことは問題なので、地元の大学の良さをもっと地元の高校生に知ってもらい、魅力的な場所として希望してもらうためにも、教育委員会との連携をより一層強化し、積極的にPRしていくことが必要である。
- ・保護者と教員の意識は、進学において大きく影響するので、山形大学の魅力を感じるきっかけ作りのためにも、学生と交流する機会を幅広い年代において実施してほしい。
- ・少子高齢化社会において、一番大事な問題は、受験生をいかに増やすかであり、一つの着眼点として、志願はしたが実際に受験しなかった受験生について分析するなど、戦略的なマーケティング活動が必要である。
- ・受験生を増やすためには、大学としての魅力を発信するだけでなく、受験生が何に魅力を感じているかを調査し、求めていることに対して応えていくという姿勢が重要である。

- 10 【報告】2020年度入学試験対策について

大場理事から、議題に関して、今年度の目標、活動の基本、推進体制及び主な事業内容について報告があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・学科改組等によって、在学生、受験生が将来的な目標に対して不安になることがないように留意する必要がある。
- ・高校生が進学後のやりたいことの具体的なイメージを描く動機づけのためにも、高校生との繋がりを意識的に作る必要がある。

- 11 【報告】就職決定状況（平成30年度最終）について

安田理事から、議題に関して、平成30年度における最終的な決定状況及び各学部、研究科における主な就職先について報告があった。

- 12 【報告】風間サテライトの売却について

小島理事から、議題に関して、報告があった。

13 【報告】大学進学者・進学率の推移について

小山庄長から、議題に関して、中教審における文部科学省の進学率の将来推計について、国大協で話題になっている旨の報告があった。

特に、山形県の推計は、実態を反映させるものではなく、是正を求める必要がある旨の発言があった。

本件に関して、主な意見等は以下のとおり。

- ・当該資料は、山形県として極めて大きな問題である。これまで地方国立大学における定員確保の重要性について、様々な機会において指摘してきた。大学としても文部科学省等に対し、積極的に訴えていただきたい。

14 【報告】入学者アンケートについて

大場理事から、議題に関して、報告があった。

15 【報告】基盤教育・基盤共通教育アクティブラーニング型授業開講数について

安田理事から、議題に関して、報告があった。

次回は、令和元年 6 月 21 日（金）に開催することとなった。